

笠縫東幼稚園

日時：平成 19年 7月 6日(金) 13:00~17:00

平成 19年 7月 11日(水) 9:00~17:00

場所：草津市平井三丁目 8 - 2

この幼稚園は、葉山川沿いに位置し、まだ田園が残るところにあります。当初葉山川をフィールドとするつもりでしたが、雨で増水したため、危険と判断し、急きょ近くにある熊野神社の森をフィールドとすることになりました。

下見の様子



何とか川のプログラムができないかと、葉山川に注ぐ用水路を見に行きましたが、あまり生物がいませんでしたので、断念することになりました。



「キツネとことり」のかくれんぼ

うおーたんの自然体験プログラム 森-16参考



森の中で、葉っぱや木の実を使ってジャンケンをしたり、木の暖かさの違いを感じたり、動物になってかくれんぼをしたりして、支援者自身が森の中でのあそびを楽しみ、五感を引き出します。

「森の中でジャンケンしよう」のプログラム

森の中にある自然物を使いジャンケンをします。

枝：チョキ 葉：パー 木の実：グー

ジャンケンポン!



割れているドングリをみつけたよ。リスが食べたんやと思う

ちっちゃいちっちゃい葉っぱを見つけたよ



ジャンケンあそびの後「まほうのつえ」のあそびをしました。棒を倒した先にはどんなものがあるのか発見するゲームです。幼児の感性に気づけるおもしろい視点のゲームでした。今まで見落としていた自然に気づくプログラムです。

「まいごの まいごの はっばくん」のプログラム

あらかじめ準備しておいた葉っぱと同じ葉っぱを探したり、葉っぱの親の木を探したりします。

どの葉っぱかなー!



同じ葉っぱかな?



この木が葉っぱのおかあさんの木かな？



木の葉っぱは緑だね。でも落ちている葉っぱは違うよね。何でかな？



落ちたら土の色になるから。

くさって、土になるねん。

ムカデが出てくるというハプニングがありました。でもムカデも自然の仲間だという話を聞き、少し落ち着きました。葉っぱや枝は、腐って土になり、森の植物の栄養になっていくことがわかりました。

「つなげてつなげて ^{エン}円ダフル！！」のプログラム

森の中で拾ってきた枝を使って、拝殿の周りに道を作ります。そして枝の道を歩き、感触や音を楽しみます。



森の中に、いっぱい枝があったね。



道作り

大きな枝を見つけてきたよ

パキッ！

パキッ！

落ちたらワニに食べられるから、気をつけて！



木の栄養になるから、森にかえすねん。



森の中から境内に出たとき、周りが明るくなりました。枝を集め、並べることを生き活きと活動し、枝の上を歩くときは想像を膨らませていました。枝を還すときは、「まいごの まいごの はっぱくん」での経験が生かされ、森の中や木の下に還しに行きました。

参加された先生の **声**

子どもたちは、普段見落としがちな落ち葉や割れたドングリが宝物になったり、拾った自然物から想像をしてさまざまな話をしてくれたりすることに驚きました。

自然にまみれてあそべない子どももいたが、その子はその子なりの関わり方をしてあそんでいた。

自然と直接関わるので、今回もムカデが出るなど危険なこともあるけれど、自然と自分自身が仲良くなり、子どもたちと体験できるようにしていきたい。

Q & A

(解答：講師 島川武治(しまっち))

Q: ムカデが出てきたので怖がってあそべなくなった子どもがいました。どのように対応したら良いでしょうか？
A: 普段の保育と自然体験保育との違いは、自然の変化に対応しなくてはならないということです。今回も下見ではいなかったムカデが出てきました。その場合、ムカデはどうしたら刺すのかということやムカデは害虫ではなく、自然の仲間だということを話し、子どもたちの恐怖心を和らげます。また場所を移動して保育をすることをおすすめします。
(例)「ムカデはもともと森の葉っぱの下にいました。そこへ私たちが入っておじゃまをさせてもらっています。ムカデはびっくりして、土の上に出てきます。こちらから攻撃したり、誤って踏んだりしなければ、そんなにさされることはありません。」